



認定:
食品の安全性を高める



世界認定推進の日

2020.6.9

(#WAD2020)

認定：

食品の安全性を高める



環境

世界中の消費者にとって、安全で栄養価の高い食品へのアクセスは、心身の健康と幸福を維持するために不可欠な条件です。食品安全という用語は、私たちの食品を安全に保つための全ての活動を表します。食品の安全性は、農家や生産者から小売業者やケータリング業者まで、食品の供給に関わる全てのプレーヤーに依存しています。

原料、製品、または製品の一部としての食品や水の生産は、世界中の国から調達される国際的な側面があり、輸入経済の要求事項に適合していることの証明がますます必要とされています。食品生産者はまた、食品廃棄物を減らし、きれいな水などの天然資源を効率的に使用するようという規制当局からの圧力に直面しています。食品生産者は、検査機関、認証機関及び妥当性確認/検証機関のサービスを利用して、法的要求事項への遵守を監視及び証明できます。

国際規格と認定は、WTO TBT協定で言及されており、貿易の円滑化のために重要な役割を果たしています。WTOは、議論された貿易上の懸念の30%がISOについて、12%がIECについて、10%がILACについてであると報告しました。したがって、国際規格と認定された適合性評価を適切に適用することで、これらの懸念を解決し、先進国と開発途上国双方にメリットをもたらす可能性があります。

2019年4月、国際連合食糧農業機関(FAO)、世界保健機関(WHO)及び世界貿易機関(WTO)¹による共同声明は、

「食品媒介疾患は、公衆衛生、食料安全保障、生産性及び貧困に重大な影響を及ぼします。食品媒介疾患のために毎年6億人近くの人々が病気になる、42万人が早期に死亡し、食品媒介疾患による死亡の30%は5歳未満の子供たちの間で起こります。」

と発表しています。

認定された適合性評価活動は、安全ではない、不正な食品による悪影響の防止と処置に貢献します。

WHOは、安全でない食品を食べることにより、世界中で毎年3300万人健康な命が失われていると推定しています。

認定の役割

適合性評価機関が、国際規格に準拠した活動であることを、市場が信頼できることが重要であり、これこそが認定の目的となります。認定プロセスは、公共の利益のために、適合性評価機関の力量及び一貫性を判断します。

適合性評価は、供給されているものが指定または要求された要求事項を実際に満たしていることの実証です。適合性評価は、製品、サービス、プロセス、システム、機関または個人に適用でき、試験、検査及び認証などの活動が含まれます。

欧州におけるフード・チェーン・セキュリティのサポート

欧州規制 (EC) No 2017/625は、欧州の食糧安全保障をサポートするための認定を利用しています。公的管理をおこなう試験所・校正機関からのすべての分析結果は、ISO/IEC 17025に従って認定される必要があります。また、加盟国の義務を含め、不正行為に対処するためのより具体的な規則によって、認定は、フードチェーン全体に広がり、定期や予定外のチェックをおこない、フードチェーン全体の一貫性と真正性を確実にします。

認定された試験所・校正機関の要求事項は第37条にされており、これにより試験所・校正機関は、例えばオペレーターが必要とする管理の実現に必要な分析方法を全て含めるように指示されます。

¹ 食料の貿易に関する共同声明 - 国際食品安全貿易フォーラム (2019年4月23-24日 スイス・ジュネーブ)



ILAC MRA 署名認定機関
102



IAF MLA 署名認定機関
72

検査機関
10,500

GFSI
Global Food
Safety Initiative
GFSIスキーム
認証サイト
80,000

試験所・校正機関
76,500

ISO
食品関連
ISO規格
1,600

認証機関
8,400

ISO 22000
認証
32,000

技能試験
400

承認された地域
5



試験と校正

食品試験所は、幅広い化学的および微生物学的試験を実施するために、認定を取得しています。試験は、包装及び環境試験、官能試験、植物防疫、獣医微生物学などの側面もカバーしています。



認証

認証機関は、農場から、レストラン、小売店までのサプライチェーンを通し、食品及び飼料を取り扱うサイトの審査を行うために、認定を取得しています。IAFメンバーが授与する認定には、FSSC 22000、GLOBAL G.A.P.統合農場保証（IFA）、国際食品規格（IFS）、APEDA及びISO 22000など、多くの国内及び国際的な食品安全スキームが含まれます。厳密なIAF承認プロセスを経たスキームは、ISO 22000（FSMS）、GLOBALGAP IFA、FAMI-QSの3つとなります。



検査

検査機関は、出荷前、植物防疫、食肉及び食肉処理場の検査など、食品業界での活動を実施するために、認定を取得しています。



技能試験

技能試験提供者（PTP）は、ISO/IEC 17043を採用した技能試験プログラムの確立と実施について認定を取得しています。技能試験は、人が飲食する上で食品が安全であることを確実にするために食品加工及び食品製造業界で広く利用されているツールです。

食品安全スキーム

世界食品安全イニシアチブ（GFSI）

業界全体でGFSI承認の認証プログラムの相互承認を確保することにより、食品の安全性とビジネス効率を向上させ、「一度認証されれば、どこでも認められる once certified, recognised everywhere」のシンプルなアプローチを可能にします。これにより、審査の重複による非効率性を軽減し、貿易の障壁を軽減します。GFSIのベンチマークプロセスは現在、世界の食品業界で最も広く認識されています。

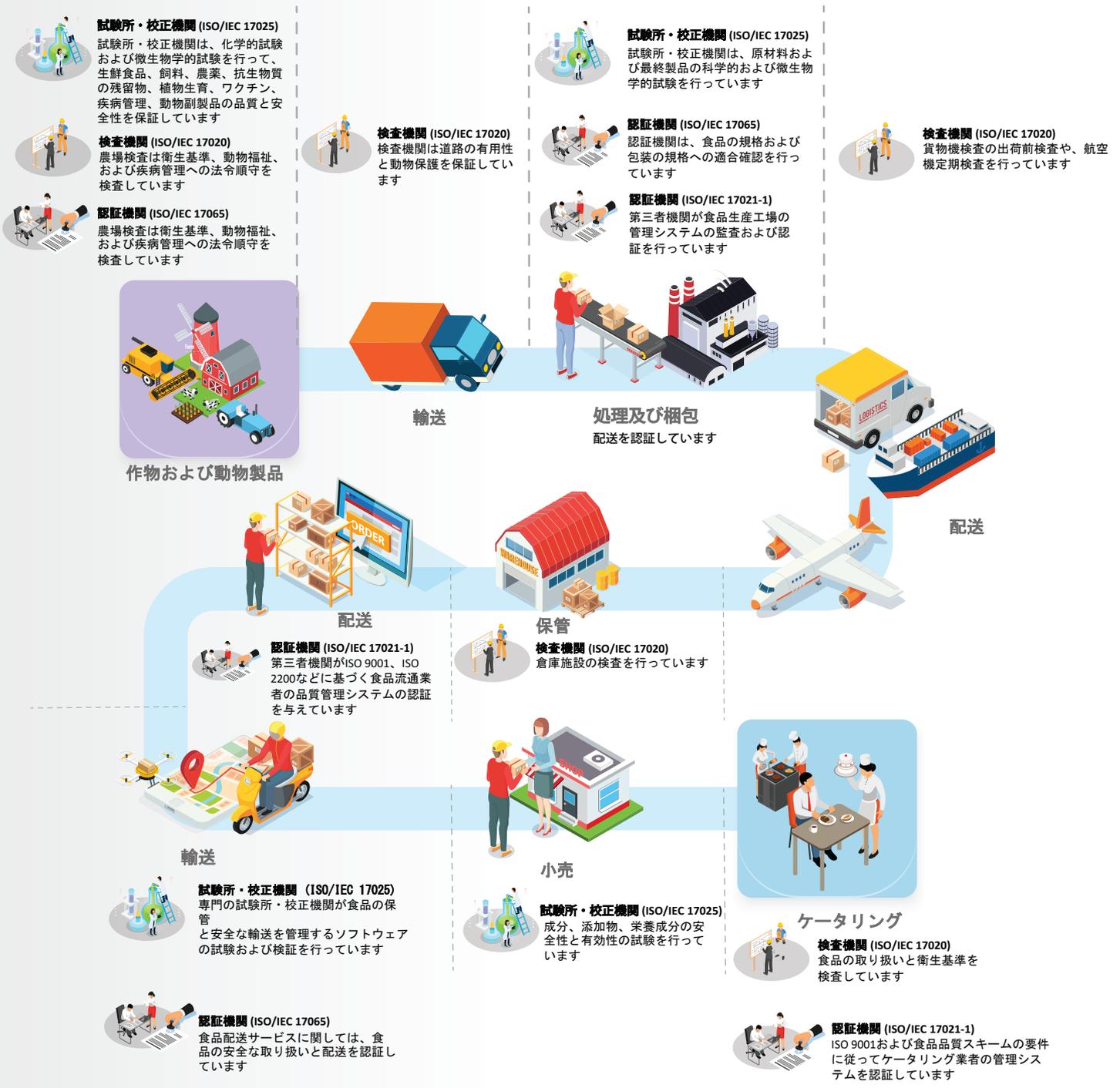
食品安全スキーム

FAMI-QS は、飼料添加物を製造したり、飼料業界にコンポーネントを供給する組織向けにつくられています。全ての成分を含め、食品加工におけるサプライチェーン全体を通して、安全で良好な衛生状態を保証するように設計されています。認定審査は、開発途上国の飼料の製造者と供給者に対して、プロセスの安全性とFAMI-QSの要求事項への適合性を実証する機会を提供しています。

中国における、認定に支えられた食品安全

HACCPマネジメントシステム認証の行政当局は、第9条における中国認証認可監督管理委員会（CNCA）による、2002年に第3号の通知のとおり、HACCPマネジメントシステム認証を行う組織はCNCAによる承認及びCNASの認定を受けなければならないとされています。2019年末までに、中国は食品セクターにおいて120,000認証文書を発行しました。これには数万の食品会社が開与し、その内11,000以上の食品製造会社がHACCPマネジメントシステムの認証を受けています。

食品のサプライチェーンにおける 認定の実態



食品の生産には、多種多様な認定された適合性評価活動を必要とする複雑なサプライチェーンとプロセスが含まれています。多くの食品スキームでは、調達、収穫、食肉処理を含む穀物生産、動物飼料と慣行に関連する認証が必要です。業界と規制当局は、保管、取扱い、処理、さらには梱包と流通などといった他の活動にも検査とサンプル試験を要求しています。小売環境での食品の保管と陳列も店舗業務、店舗での処理、店舗の管理システムの認証を受けることで恩恵を受けています。

調達業務をサポートし

グローバルな食品サプライチェーンの安全を確保



食品安全上の危険はプロセスのどの段階でも発生する可能性があるため、食品サプライチェーンのすべての企業は適切な危機管理を行う必要があります。実際、食品の安全性は、政府、生産者、小売業者、および最終消費者のすべての関係者の努力によって維持できます。



日本は食品の放射能レベルの試験を認定された試験所に依頼

2011年3月11日の東日本大震災によって引き起こされた食品中の放射能汚染の問題は、国際基準に対する試験所認定の重要性を一層高めました。

認定機関の間で結ばれるILAC相互承認（MRA）の目的は、外国（経済圏）で認定された試験所が本国（経済圏）の認定試験所・校正機関と同等であることを試験所の利用者に保証することです。認定試験所・校正機関の試験報告書は、食品の取引を容易にし、基準への適合確認にかかるコストを削減します。

日本の農林水産省（MAFF）は、ISO / IEC 17025に基づいて認定された試験所・校正機関が実施する食品中の放射性物質の測定と分析は信頼できるものであると いう通知を発行しました。

認定を受けた試験により、英国からの肉輸出市場が開かれます

英国からの牛肉は、農業・園芸開発委員会（AHDB）、環境・食品・農務省（Defra）、食品規格庁（FSA）、英国輸出認証パートナーシップ（UKECP）、クオリティミートスコットランド並びにHCCミートプロモーションウェールズが関る作業に続いて、検査官の承認を得た後、カナダに輸出できるようになりました。

この協定はプライマルカットと製造牛肉の両方を対象としており、英国当局は、カナダ当局が要求する微生物試験の保証に取り組んできました。現在実施している輸出プロセスは英国認証機関認定審議会（UKAS）により認定されているため、迅速な出荷を開始できます。

認定を受けた食品検査はフランスのケータリングサービスにおける食品安全をサポートしています

欧州規則（EC）No 2017/625の適用により、食品安全のための新しい検査ツールの運用の道が開かれました。施設の適合レベルを確認するために、フードチェーン全体で公式の検査が行われます。規制要件に従って、ケータリング施設の衛生レベルの検査に関するフランス国家規格NF V01-015が2016年5月に発行されました。

食品安全の検査の枠組みにおいて関係当局による認定検査機関の利用を規定しています。検査機関の認定は、高水準の衛生状態を保証し消費者の保護に直接役立っています。



持続可能な開発目標

の達成を支援する認定

認定、SDGs、そして食品の安全

食品の安全性は、多くの持続可能な開発目標(SDGs)の達成、特に飢餓と貧困の撲滅、健康と福祉の増進に直接・間接的に関連しています。食品と栄養の安全性は、健康的な食事に必要な要素が安全に摂取され、消費者がそれを認識して初めて実現します。食料の安全性は、世界人口の増加とさらなる繁栄のために必要とされる農業の発展と変革、国家の食料システムの近代化、および国の地域および国際市場への効率的な統合にとって不可欠です。

貧困をなくそう



食品媒介疾患(FBD)は貧困層の間では健康を阻害する主な原因であり、労働日数の損失、自己負担、家畜および他の資産の価値の減少を含む様々なコストと関連しています。ISO/IEC 17020認定検査機関のサービスは、安全ではない食品を検出し、衛生レベルを監視するために、サプライチェーンの様々な段階で利用されています。サプライチェーンから採取したサンプルの試験には、ISO/IEC 17025認定試験機関のサービスが利用されます。

安全ではない食品と栄養には複雑な相互作用があります。例えば、毒素は栄養不良に直接つながる可能性や、最も栄養価の高い食品の一部は食品媒介疾患に最も関与していること、そして食品の安全性に対する懸念から、消費者が栄養価の高い食品から消費をシフトする可能性があります。ISO/IEC 17065を使用する製品認証機関は、多様な食品の生産およびサプライチェーンを評価し、地域および国際的なスキーム(例:GFSIベンチマーク要件)への適合性を確立します。

飢餓をゼロに



すべての人に健康と福祉を



食品媒介疾患による世界的な健康負担は、マラリア、HIV/エイズ、結核に匹敵します。食品媒介疾患の影響を最も受けやすいのは、乳児、妊婦、高齢者、そして免疫機能が低下している人です。ISO 15189認定を受けた医療機関には、食品媒介疾患の影響を受けた患者の医療サービスを改善する力量があります。

ISO/IEC 17021-1認定認証機関が食品安全管理システムを評価します。これらのシステムは、食品の安全性に関する要因分析と重要管理点(HACCP)が、食品サプライチェーンの様々な段階において十分に文書化され、実施され、監視されることを確実にします。ISO/IEC 17065認定食品認証機関は、国内および国際的な食品安全スキームへの製品の適合性を評価します。

清潔な水が不足すると、感染性の食品媒介疾患が水を介して伝染する可能性があるため、食品の安全性へのリスクが高まります。食品製造における化学物質の不適切な使用は水源を汚染することになります。国際的に合意された試験方法を用いたISO/IEC17025認定試験所における環境、化学および微生物学的試験は、水質の改善に役立つよう十分に確立されています。

安全な水とトイレをみんなに





働きがいも 経済成長も

8 DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH



包摂的な食品市場は、多くの人々に生計手段と貧困の悪循環からの脱出の機会を提供します。食品媒介疾患を予防すれば、労働者は業績を上げ、経済成長に貢献するためのよりよい機会を得ることができます。ISO/IEC 17024に従った要員の認証は、労働者の力量の評価を可能にし、力量ある人材を選ぶための信頼できるツールを雇用者に提供します。GFSI (世界食品安全イニシアチブ)の基準によって評価するスキームは、世界有数の小売業者に認められており、食品加工業者及び食品製造業者に輸出市場への進出の機会を提供しています。

多くの国々において、食品・飲料の産業化（農産業）について計り知れない可能性があり、持続した雇用の創出と、より高い生産性が期待できます。適合性評価サービスを含めた、食品産業におけるインフラ（基盤）が不十分なために、市場、雇用、情報及び教育・訓練の機会を得られず、事業上の大きな障壁となっています。

Quality Infrastructure (質の高いインフラ) は社会的、経済的そして政治的な目標の達成にプラスに作用しています。認定された適合性評価サービスは、食品産業の技術的能力を向上させる取組み及び持続可能で回復力のあるインフラの開発を支援します。

産業と技術革新 の基盤を作ろう

9 INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE



インド食糧庁は、基準の向上の ために認定を活用

インド食品安全基準局 (Indian Food Safety and Standards Authority: FSSAI) は、食糧生産に関する基準の向上のために、インド認証機関認定協会 (National Accreditation Board for Certification Bodies: NABCB) の認定を利用している。FSSAIは、食品安全の審査機関に対してNABCBによる認定を指示する、第三者審査に関する規則を制定した。十分な審査結果を得た食品事業者は、中央政府又は州政府の許認可当局による検査の頻度を減らすことができる。第三者審査は、中央政府又は州政府の許認可当局による検査の負担を減らし、食品関連事業者の効率的な自己遵守を推進する。

住み続けられる まちづくりを

11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES



何億もの人々が都市農業及び食品関連のサービスで働いています。活気ある伝統的な食品市場や屋台の食べ物は、文化、観光産業、そして住みやすい都市に重大な貢献を果たしています。消費者保護のために食品検査サービスが活用され、事業者は事業の持続可能性を確実にすることができます。



認定は

安全な食品の国際貿易を支えています

安全な食品は、栄養安全保障、人類の発達、広範囲な経済と国際貿易のために欠かせないものです。食品の国際貿易は、高度に複雑化し相互に連結しており、今では1.5兆ドルに達しています。（出典：WTO）

国際認定フォーラムの国際相互承認協定（IAF MLA）及び国際試験所認定協力の相互承認取決（ILAC MRA）の目的は、適合性評価活動の技術的能力及び公平性の評価を通じて、ユーザーにデータと証明書の信頼性を提供することです。IAF MLA又はILAC MRAに署名している認定機関によって与えられた認定は、その承認された認定プログラムに基づき世界中で受け入れられることにより、経費を削減し、産業及び消費者に付加価値を提供します。

従って、マネジメントシステム、製品（プロセス及びサービスを含む）、要員、妥当性確認/検証及びその他の類似する適合性評価プログラムについて、MLA/MRA署名認定機関に認定された適合性評価機関による試験結果、検査報告書及び証明書は、国際貿易において信頼されます。IAF MLA及びILAC MRAは、技術的障壁を排除することにより国際貿易の自由に貢献しています。IAFとILACは「一度認定されたら、どこでも受け入れられる」という目標を達成するための、単一のシステムを実現する最も有効な方法を見いだすために連携しています。



メキシコの農産物分野における競争力を向上させる認定

「メキシコ食品衛生安全品質管理局」（The National Health Service, Food Safety and Quality: SENASICA）とメキシコの認定機関（Mexican Accreditation Entity: EMA）は連携し、手順、要求事項及び関連する認定の標準化と整合、並びに認証機関、検証ユニット及び試験所の承認を促進する取組みの調整を図っています。認定は、メキシコで生産された農産物製品（輸出の6.2%を占める）に対する評価と競争力を強化します。認定によってパフォーマンスの向上が進み、農産物製品に対する高い信頼をもたらします。



世界貿易機関 (WTO)の報告によると、世界の食料品貿易は過去20年間で3倍以上に拡大しました。輸出国として、また輸入国として、世界の食料品貿易に参加する開発途上国が増え続けています。同時に、世界の農業のバリューチェーンは複雑化し、食品は異なる国で頻繁に栽培、加工、消費されるようになりました。これにより、世界中の消費者に届く食品の量が増え、多様化が進みましたが、同時に、取引される食品の安全性と製品適合のコストに関する懸念も生じてきました。

消費者にとっては、地元で生産された食品も輸入された食品も安全でなければなりません。このため、産業、試験、検査および認証のための国際食品安全基準の開発がこれまで以上に重要になっています。

貿易取引コストが1%削減されれば、世界全体で430億ドルの貿易による恩恵がもたらされると推定されます。その恩恵は生鮮食品を含む保存の効かない品目の貿易に関して特に大きいとされています。(FAO、WHO及びWTOの共同声明-2019年4月)

食物連鎖を通じて200以上の病気が蔓延しており、安全で持続可能な食料生産が最大の課題の一つであることは明らかです。

食の安全・防犯をサポートする認定

欧州における馬肉の不祥事に対応して、英国政府は、認定された試験、検査、認証が食品の健全性を確保し、食品犯罪を防止するための仕組みを提供することを推奨する報告書を発表しました。



ILAC and IAF Membership map

米国の規制当局が輸入食品を監視するために認定を使用

米国食品医薬品局(FDA)は、輸入食品の監督に認定を採用しています。FDAは、任意の認定第三者認証プログラムの下で認定を承認しています。

FDAによって承認された認定機関は、第三者認証機関を認定する権限を有しています。認定を受けた第三者認証機関は、食品安全監査を実施し、外国の食品施設（農場を含む）とそこで生産される、食料及び家畜飼料の認証を発行することができます。

認定された適合性評価サービスによって 経済的・公衆衛生的負担が減少する

世界銀行

世界銀行ガイド



世界銀行は安全でない食料による負担を避けるための指針を発表しました。本ガイドでは、安全でない食品による負担の多くは、伝統的な食品生産・流通経路を含む食品バリューチェーンの様々な時点で、実際的でしばしば低コストの行動と適合性評価のインフラを変更することで回避できると論じています。低・中所得国における食品安全能力の問題の一つとして、事業者の認定と認証のための効果的なメカニズムの欠如が指摘されました。

このガイドは、食品試験施設システムが国際的に認定され、効果的にネットワーク化され、財政的に持続可能であることを保証する必要性を強調しました。試験能力への投資が行われる場合には、技能試験、スタッフの訓練、そして最終的には認定を通じて、品質管理に厳密な注意が払われるべきです。

ISO規格

適合性評価は、食品安全のための国際基準とスキームに基づいています。

ISOは、食品への信頼を高め、農法を改善し、持続可能で倫理的な購買を促進することを目的とした食品生産部門の1600以上の基準を定めています。

(www.iso.org)

WHO

食品媒介疾患の負担についてのWHO報告書



2015年にWHOが実施した食品媒介疾患報告書の世界的負担は、このような広範な世界規模での最初の取り組みでした。この研究では、食品媒介疾患の影響だけでなく、この問題に取り組むための行動の必要性も強調されています。

WTO

最も影響を受けるのは
低・中所得国

低・中所得国における食品媒介疾患による生産性の損失は、年間952億米ドルと推定されています。このうち、上位中所得国は508億ドルで全体の53%を占めています。

下位中所得国は406億米ドル(43%)、低所得国は38億米ドル(4%)を占めています。

(食品安全と貿易に関するジュネーブ国際フォーラム)

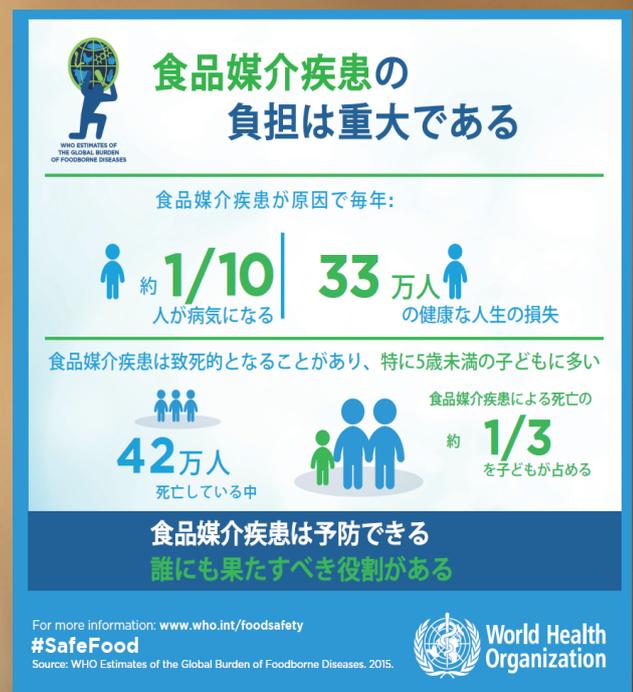
認定を通じて旋毛虫症から保護されたポーランドの消費者

ポーランド産の豚肉とシカはTrichinellaモニタリングプログラム（旋毛虫監視プログラム）の対象となっています。法的要件に従って、旋毛虫症に感染しやすい種は、特に豚、イノシシおよび馬肉に関して、義務的な検査の対象となります。

旋毛虫症診断に関与する検査室の認定は、信頼できる検査結果を得ることを可能にし、検査室によって開発され実施される手順は、得られた結果に対するより大きな信頼性を提供するだけでなく、それらの比較可能性を確実にするのに役立ちます。

オーストラリア及びニュージーランドにおける食肉製品の安全性を支持する認定

オーストラリアとニュージーランドの認定機関(JAS-ANZ)は、オーストラリアのビクトリア州で食肉、魚介類、ペットフードの安全性を規制する当局であるPrimeSafeをサポートしています。食品安全管理制度(FSMS)は、食肉施設の所定の基準への適合性を監査する適合性評価機関を認定することにより、PrimeSafeの施設における1993年ビクトリア州食肉産業法、2015年ビクトリア州食肉産業規制、2003年魚介類安全法および2014年魚介類安全規制の遵守管理を支援しています。



食品媒介疾患または食品不純物混入不祥事の大発生に関する多くの事例研究は、認定された適合性評価サービスを使用することで、世界中の多くの国で後手の対応から予防的かつ積極的なシステムへの移行が可能になることを示しています。適切な適合性評価のインフラへの投資は、予防への持続的な投資に関する世界銀行の勧告に整合します。これには、食品安全リスクを管理するための各国のコア・コンピタンス（中核となる技術・能力）を構築し、農場（生産現場）からフォーク（食卓）までの多くの異なる主体が責任を持って行動し、消費者の健康を念頭に置くよう動機付け、権限を与えるものが含まれます。

世界認定推進の日

2020.6.9

サプライヤーの検索

「IAF CertSearch」は、2019年9月のILAC・IAF合同総会において発足しました。このデータベースは調達業務を支援するツールです。プラットフォームには現在、認証を受けたサプライヤーからの約40万のマネジメントシステム認証が含まれており、購入者は潜在的なサプライヤーがそのような認証を保持しているかどうかを確認することができます。また、認定されたマネジメントシステム認証機関によって発行された証明書と、認定されていない認証機関によって発行された証明書とを区別し、証明書の真正性をチェックするのに役立ちます。

www.iafcertsearch.org

詳細情報

認定は、企業の内部運営のリスクを評価し管理するだけでなく、企業が市場に投入する製品やサービスのリスクを評価し管理するための、世界的に認知されたツールを提供します。このようにして、規制当局、購入者および従業員は、認定がより安全な世界をもたらすという確信を示すことができます。

食品安全ポリシーの提供における認定の利点に関する調査、ケーススタディ、および関連情報の詳細は次のウェブサイトをご覧ください。

<https://publicsectorassurance.org/topic-areas/food-safety-agriculture/>

標準化と認定から得られるメリットの詳細については、
<http://www.businessbenefits.org> を参照ください。



THE ILAC SECRETARIAT

Phone: +612 9736 8374
Email: ilac@nata.com.au
Website: www.ilac.org

@ILAC_Official

www.ILAC.org



PUBLIC SECTOR ASSURANCE

<http://www.publicsectorassurance.org>



BUSINESS
BENEFITS
Evidence. Impact. Value.

<http://www.business-benefits.org>



<https://www.youtube.com/user/IAFandILAC>



THE IAF SECRETARIAT

Phone: +1 (613) 454 8159
Email: iaf@iaf.nu
Website: www.iaf.nu

international-accreditation-forum-inc

@IAF_Global

www.IAF.nu